

# Australia DAY 4

0313 Fujitsu Australia



## 海外で働くということ

今日は早めのランチを済ませ、Fujitsu Australia へ。富士通は世界 5 位のシェアを占める IT 企業。オーストラリアをはじめとして世界各国に支店が存在します。駐在員の方は約 3 年海外に赴任して働くそうです。今日は 3 名の駐在員の方に Fujitsu Australia の紹介だけでなく、オーストラリアに来た経緯や海外に来てみて感じたことなども含めてお話をいただきました。

特に興味深かったのは、駐在員の方々が「海外に来て感じたこと」。3 名の方々が共通して話していたことは、**英語を話せることはもちろん大切だが、それ以上に大切なのが、働く土地や一緒に働く人の文化、ルール、習慣などをしっかりと理解すること。**そして、**相手から信用されて一緒に働きたいと思ってもらわなくてはいけない、ということ。**生徒の中には、将来英語を生かして仕事をしたい生徒もたくさんいます。今日のお話は、将来働く上でとても大きな気づきをくださいました。Fujitsu Australia の 3 名の駐在員さん、貴重なお話を本当にありがとうございました。

### 海外に来てみて感じたこと（一部抜粋）

やっぱり英語は大事 日本ではオンライン英会話をしたり、英語を話せる場所に行ってどんどん話しかけ英語を上達させた。

人種/文化/考え方は人それぞれ 各々の価値観の違い、文化的背景への理解が働く上でとても大切。

Face to Face のコミュニケーションを大切に 頼み事はメールだけでなく直接声もかける。顔を合わせたコミュニケーションが大切。

自分の仕事は日本との橋渡的存在 日本と現地双方から頼られ、とてもやりがいのある仕事。

専門性（得意分野）をもち、高めることが大切 英語だけでなく自分の専門的な技術や知識を持っていると、信頼してくれ、つたない英語でもしっかり聞こえてくれる。一緒に働きたいと思ってもらうことが大切。